

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人千草福祉会児童発達支援ルートちぐさ		公表日 2025年 2月 12日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1		該当なし	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	他の訪問事業所がどんなことしているのかなど、情報収集して連携していけると違う視点も見えていくかと思った。	前向きなご意見ありがとうございます。他事業所も同じ課題を持っているかもしれません。まずは接点作りに尽力していきましょう。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2	1	支援計画書をしっかり見ていくことを今後意識したいと思う。	職員間の情報共有の場を大切にして取り組んでいきましょう。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1	教育の視点と療育の視点が時々ずれていることがある。お互いの価値観や、理念などを踏まえて目標をしっかりと考えていきたい。	子どもの最善の利益のために、お互いの視点を尊重し役割分担をしながら検討進めていけたらと思います。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	1	ガイドラインをしっかりと確認していきたい	職員間で共有していきましょう。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2		業務がそれぞれあるので打ち合わせまでできていないので、今後の課題になると思った。	継続課題として取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	保育所等訪問支援事業の研修会などがあれば参加したい	情報収集して適宜声掛けしていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3	地域との連携を積極的に行っていきたい。どこでやっているのかなど情報収集していきたい	まずは情報収集から取り組んでいきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1	親御さんも働いているので、会議の時にしっかりと話ができている。その辺をうまく連携できる仕組みを考えていきたい	LINE、HUGシステム等を活用して保護者との連携も図っていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	機会は設けるが、参加してもらうに至っていない。その辺の巻き込み方、仕組みを考えていきたい。	仕組み作りから検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		施設都合でその日行えない場合は記録での郵送や会議等で行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		1	訓練は児童、職員は行なっているが保護者の参加はない。 感染症が流行っている場合は周知連絡を行なっている。 訪問先のマニュアルに準じた対応をとるよう職員間で確認している マニュアルをしっかりと確認していきたい	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	研修などがあれば参加したい	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	マニュアルをしっかりと確認していきたい	職員間で共有していきましょう。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1	マニュアルをしっかりと確認していきたい	職員間で共有していきましょう。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	マニュアルをしっかりと確認していきたい	職員間で共有していきましょう。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人千草福祉会児童発達支援ルートちぐさ		
○保護者評価実施期間	R7年1月15日		～ R7年1月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年1月15日		～ R7年1月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R7年1月15日		～ R7年1月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問員の質（ST、本児をよく知っている職員）	・訪問に行く目的を明確にしてうえで支援を行っている。	・訪問目的を施設側、保護者にも共有できる体制やツールを検討していく
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育の視点のみならず、置かれている集団の状況を的確に把握（環境、人員等）したうえで、どうアドバイスができるのか	・訪問事業としての歴が浅い。	・訪問件数の場数を踏む（PDCAサイクル、ルート内でも情報共有） ・訪問に特化した研修の受講（情報収集から取り掛かる）
2			
3			